

# 江戸川区後援催しもの情報

令和6年1月号 Information

区内のイベント情報  
(掲載情報含む)を  
区HPのイベントカ  
レンダー  
に掲載し  
ています



当情報紙は、区が後援する事業を取りまとめて発行するものです。ご不明点は主催団体または後援主管部署にお問い合わせください。  
発行:江戸川区 〒132-8501 江戸川区中央 1-4-1 ☎03-3652-1151(代表) ☎03-3652-1109 <https://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

## 地域住民のための講演「最近の認知症医療の現状と認知症予防について」

**【日時】** 6年1月15日(日)15時30分～16時30分

※15時開場

**【場所】** タワーホール船堀 4階研修室

**【対象】** 区内在住の方

**【定員】** 60人(申込順)

**【講師】** 堀智勝(森山脳神経センター病院院長)

**【申し込み】** 12月18日(日)9時から認知症を学ぶ会へ電話(☎03-3206-8901)で ※平日9時～18時と12月29日(金)～6年1月3日(日)を除く。

**【後援主管部署】** 事業者調整係 ☎03-5662-0032



## 同行援護従業者養成研修受講者募集

**【日時】** 6年2月3日(日)9時～17時・4日(日)10時15分～17時30分・17日(日)8時30分～17時50分・18日(日)9時～18時40分・23日(日)8時30分～14時40分(全5回)

**【場所】** タワーホール船堀 3階303会議室 ほか

**【定員】** 16人(申込順)

**【費用】** 4万1100円 ※協会登録希望者は2万円。

**【申し込み】** 6年1月4日(日)～2月2日(日)13時に(特非)江戸川区視覚障害者福祉協会へ電話(☎03-3877-3677)または電子メール(記入例参照・✉soudan@sweet.ocn.ne.jp)で

**【後援主管部署】** 障害者福祉課計画調整係 ☎03-5662-0044

## 江戸川シャベル ファミリーコンサート

**【日時】** 6年1月6日(日)13時30分開演

**【場所】** 東部フレンドホール

**【定員】** 348人(現地先着順)

問 ママさんブラスバンド江戸川シャベル・駒木 ☎080-3511-5364、✉komaki@aol.jp

**【後援主管部署】** 文化振興係

☎03-5662-1628



## 凡例

✉…電子メール

問…問い合わせ

※費用の記載のないものは無料。

## 参加申し込み記入例

①催し名・コース(希望日・時間)

②郵便番号・住所

③氏名(フリガナ)

④年齢(学年)

⑤連絡先(電話・FAX番号など)

※往復ハガキの場合は、返信用にも住所・氏名を記入。

●原則①～⑤を全て記入

●区内在勤・在学の場合は「⑥勤務先・学校名」を記入

●記事内に指定がある場合は「⑦その他記載事項」を記入

●原則1人1枚(重複申し込みは無効)

## 銭湯イベント「かんきつ湯」

区内各銭湯(公衆浴場)で「かんきつ湯」を実施します。

**【日時】** 6年1月28日(日)各銭湯営業時間内

**【場所】** 区内各銭湯

**【費用】** 入浴料

問各銭湯

※営業時間や入浴料など

詳しくは区浴場組合HPで  
ご確認ください。

**【後援主管部署】**

商業係 ☎03-5662-0523



▲銭湯マップ



◀区浴場組合HP

## 楽しめる「かな書道」無料講習会

**【日時】** 6年2月10日(日)9時30分～11時30分

※9時15分から受け付け。

**【場所】** 小岩アーバンプラザ

**【定員】** 30人(申込順)

**【講師】** 大貫水声(聖徳大学SOAかな書道講師)

**【持ち物】** 筆、硯、墨、かな用紙

**【申し込み】** 6年1月15日(日)までに水声書道協会へ電話(☎03-3680-6361)またはFAX(記入例参照・FAX03-3680-6361)で

**【後援主管部署】** 文化振興係 ☎03-5662-1628



## 初心者のための茶の湯教室

**【日時】** 6年2月9日・16日、3月8日・15日、4月12日・19日の(日)14時～16時(全6回)

**【場所】** 松島コミュニティ会館

**【対象】** 区内在住・在勤・在学の方

**【定員】** 15人(申込順)

**【費用】** 月4500円(材料費)

**【申し込み】** 6年1月18日(日)までに文化課文化振興係へ往復ハガキ(記入例参照)を郵送(必着・〒132-8501(住所不要)文化課文化振興係)または江戸川華道茶道協会へ電子メール(記入例参照・✉edogawa.kasadou@gmail.com)で

**【後援主管部署】** 文化振興係 ☎03-5662-1628





## 第21回松島土曜寄席

**【日時】** 6年1月13日(土)14時～16時30分  
**【場所】** 松島コミュニティ会館  
**【定員】** 30人(申込順)  
**【費用】** 500円  
**【出演】** 葵家金太郎 ほか  
**【申し込み】** ひらい落語倶楽部・  
 長崎へ電話(☎090-2400-7853=12時～13時)または電子メール(✉oun090@yahoo.co.jp)で  
**【後援主管部署】** 文化振興係☎03-5662-1628



## 第133回小岩で落語を聴く会

**【日時】** 6年1月28日(土)14時～16時30分  
**【場所】** 小岩区民館  
**【定員】** 30人(申込順)  
**【費用】** 500円  
**【出演】** 料亭彦柳 ほか  
**【申し込み】** 江戸川落語研究会・  
 長崎へ電話(☎090-2400-7853=12時～13時)または電子メール(✉oun090@yahoo.co.jp)で  
**【後援主管部署】** 文化振興係☎03-5662-1628



## 江戸川病院 医療情報セミナー 前立腺肥大症～薬を飲まなくていい時代が来ました!～

**【日時】** 6年1月27日(土)14時～15時  
**【場所】** 鹿骨区民館  
**【定員】** 282人(申込順)  
**【講師】** 河野義之(江戸川病院泌尿器科BPHセンター長)  
**【申し込み】** 当日12時までに江戸川病院患者サポートセンター地域連携室へ電話(☎0120-518-120)、FAX(記入例参照・FAX03-3673-0758)またはHPで  
**【後援主管部署】** 健康推進課推進係☎03-5661-2462



## ジュニアゴルフレッスン生徒募集

**【日時】** 毎週(土)16時30分～20時20分  
**【場所】** 京葉ゴルフセンター(篠崎町2-44-29)  
**【内容】** プロによるゴルフレッスン(各50分)  
**【対象】** 小学1年生～高校3年生の方  
**【費用】** 1万5000円(8回分)  
**【申し込み】** 江戸川区ゴルフ連盟・磯山へ電話(☎090-4926-5119)で  
**【後援主管部署】** スポーツ係☎03-5662-1636



## プロが教えるシニア健康ボウリング教室

**【日時】** 6年1月27日(土)10時30分～12時30分  
**【場所】** 葛西とうきゅうボウル(東葛西9-3-3アリオ葛西3階)  
**【対象】** おおむね60歳以上の都民の方  
**【定員】** 27人(車いす・障害者枠4人含む、応募多数の場合は抽選)  
**【講師】** 日本プロボウリング協会城東地区所属プロ  
**【申し込み】** 6年1月14日(土)9時～20日(土)18時に江戸川区ボウリング連盟・鈴木へ電話(☎090-1202-6467)で  
**【後援主管部署】** スポーツ係☎03-5662-1636



## SIAテニス講習会(初心者・初級者)

**【日時】** 6年2月29日～3月21日の毎週(土)19時～21時(全4回)  
**【場所】** 谷河内テニスコート  
**【対象】** 小学生以上の方  
**【定員】** 30人(申込順) ※小学生は保護者同伴。  
**【費用】** 3500円  
**【持ち物】** 運動着、テニスシューズ(運動靴も可)、ラケット(貸出用若干あり)  
**【申し込み】** 6年1月31日(土)までに往復ハガキ(記入例参照)を郵送(必着・〒133-0055 西篠崎2-27-11 SIA事務局・小泉功)  
**【後援主管部署】** スポーツ係☎03-5662-1636



# えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和5年12月発行  
第63号

【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター  
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス  
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも  
ボランティア①

## 特別養護老人ホームでボランティア活躍中! 「なぎさグループ」の横内 博さんにインタビュー



### 1 きっかけ

昭和54年頃、江戸川区の障がい者団体の近所の方から男性ボランティアの手が欲しいので手伝ってくれないかと声を掛けられたのがきっかけでした。その頃は男性ボランティアは少なく、ボランティアへの理解もない時代でした。当時、私はサラリーマンをしていたので、まずは活動が可能な土曜日からはじめました。

昭和56年、ボランティア活動に少し慣れてきたころ、特別養護老人ホームなぎさ和楽苑にボランティアで清掃に行くようになり、「なぎさグループ」に入会し、40年が過ぎました。

### 2 「なぎさグループ」での活動

「なぎさ和楽苑」では、シーツ交換、洗濯物整理、行事への参加、「うらやす和楽苑」ではデイサービス利用者のお話相手をしています。

また、区民まつりでは第4回から模擬店を出店していて、当日は和楽苑の職員の方が手伝ってくれるという良い関係ができていて、とてもボランティア活動がしやすい環境が整っています。

コロナの影響で、和楽苑での活動はまだ居室でのお話が以前と同様という状況ではありませんが、担当職員と相談しながら安全安心を心掛けて活動をしています。

### 3 幅広い活動

平成24年から区福祉ボランティア団体協議会の運営委員、さらに平成28年からは会計監査を担当しています。協議会では普及推進部会の仲間とグループ運営の相談等ができる、良き仲間恵まれていることをうれしく思っています。

また、出前ボランティアで児童・生徒と接することは楽しみのひとつでもあります。さらに、「ボランティアセンターだより」の町会・自治会への配付ボランティアも行っています。

平成26年に永年に亘るボランティア活動に対し江戸川区長から、また平成29年には東京都知事から感謝状をいただきましたことも自分の活動を振り返るとき、大変感慨深いものがあります。

### 4 今後に向けて

ボランティア活動をはじめた頃は、人さまの役に立つ良いことをしているのだと思いあがった気持ちでいましたが、今はボランティア活動は何のことはない自分が成長することなのだということに気づきました。現在、なぎさグループは10人で活動していますが、仲間になって是非一緒に活動をしていただけると幸いです。

今まで永くボランティア活動ができたのは、心優しい仲間と和楽苑のスタッフ、そして何よりも家族の協力があることだと思って感謝しています。

これからも微力ながら、仲間と一緒に楽しく、自由で創造的な発想でボランティア活動を続けていきたいと考えています。



横内 博さん  
(ボランティアセンターにて)



なぎさ和楽苑でのシーツ交換



出前ボランティアにて

特養ホームの職員と一緒に  
なぎさグループで  
区民まつりに参加



職員と一緒に撮影(最前列左から4番目)



江戸川区長から感謝状

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター

☎ 03(5662)7671


**「夏のボランティア体験」に参加いただいた、三洋商事株式会社(東葛西)の鹿志村 愛(かしまら あい)さんと下谷 優花(したや ゆうか)さんにお話を伺いました。**



鹿志村 愛さん(左)と下谷 優花さん

### <会社の紹介>

三洋商事株式会社の経営理念が“地球に「ありがとう」を伝える企業”ということで、産業廃棄物処理を機械に頼らずに人の手(手サイクル)により解体・分別をし、97%以上のリサイクル率を維持しています。環境にも人にも優しいリサイクルを目指しています。

当社は、ボランティア活動の企画・開催や、近隣清掃活動、社内のSDGsプロジェクト推進、環境教育活動などにも力を入れています。学生向けの「SDGsスクール」では、地球環境問題や社会的課題についてお話をする活動を行っており、業界の社会的地位の向上とリサイクルの重要性などもお伝えしています。

### <鹿志村 愛さん> - 障がい者施設で体験 -

私が3日間体験をした「NPO法人えどがわ悠人会 就労継続支援B型事業所 YSG」(西一之江)さんは、障がいがあり一般企業に就職が難しい、または就職に不安がある方が、陶芸・カフェ・内職などの作業を無理のないペースで行える場を提供しています。YSGさんは、生活支援や自立支援を軸に、どのような場面でも利用者さんの声をしっかりと拾い、一人ひとりの意見を大切にしていました。私も体験中に参加した事業所運営に関する定例会議でも、職員と利用者が対等に意見を出し合っていました。このような環境が、利用者さんの自立に繋がっているのだと感じました。

また、体験中は利用者同士の「大丈夫?」「しんどかったら休みなね!」という気遣いの言葉をよく耳にしました。このように支え合える仲間がいることも、自立には必要な要素だと思います。

今回の体験を通して、社会との繋がりが自立支援に繋がっていることを知り、働くことでしか得られないこともあると感じました。私たちも障がいのある方と一緒に働いていますが、改めて学ぶことや気付かされることが多く、視野も広がりが大変勉強になりました。今回の経験を、今後の活動にも活かしていきたいです。



施設で体験中の鹿志村さん(左)

### <下谷 優花さん> - 外国人の日本語サークルで体験 -

私が「日本語ふれあいひろば」(船堀)を体験先に選んだ理由は、学生時代の海外ボランティアでの体験を思い出したことがきっかけです。学生時代に所属していたボランティアサークルのメンバーでタイの大学を訪問する機会があり、そこで学生に日本語を教える日本人の先生に出会いました。その先生の影響で、「私も外国の方に日本語を教えてみたい」と興味を持った当時を思い出し、「夏のボランティア体験」にチャレンジしてみようと考え、今回の体験先を決めました。

私が4日間体験をした「日本語ふれあいひろば」の生徒さんは、話せる日本語のレベルにばらつきがありました。

私は日本語学校にも通う中国人の女性と2人1ペアになり、ニュース記事を一緒に読みながら分からない単語の意味などを教えていました。4日間同じ生徒さんを教え、身振り手振りを交えながら和やかな雰囲気が進めることができ、最後には楽しかったとの感想をいただいたことがとても嬉しかったです。



「日本語ふれあいひろば」での下谷さん(左)

また、日本語を教えることは文化の違いも把握しなければならず、日本語を真に理解していないと、教えるのは意外にも難しいということを実感しました。

今回の体験を通して、生徒さんとの会話の中で日本との文化や習慣などの違いを多く知ることができました。外国の方に関わらず、人は皆それぞれの文化や価値観を持ち、自分と他者との違いを感じることもあると思います。会社の中だけでなく、今後も様々な人と出会い、接する機会があると思いますが、そんな時に「他者の立場や考えを尊重することの大切さ」を改めて大事にしていきたいと感じました。

## ボランティアさん情報

募集情報の掲載を希望される施設や団体の方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。  
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

### 「フードバンクおりなす江戸川」

企業や家庭から食品を寄付していただき、それらを区内6会場で、月2回食料を必要とするひとり親家庭・生活困窮者の方たちへお届けする活動を行っています。コロナ禍の影響で食料支援への需要は高まる一方で、人手が足りません。ご自分のできる範囲内の時間と活動でかまいませんのでご協力をお願いします。

- <活動の内容>
- ①食品の運搬(食品の受取り、会場までの運搬、受取りに出来ない人への配達)
  - ②食品の管理(寄贈された食品の仕分け・箱詰め、お米などの袋詰め)
  - ③食品のお渡し(利用者の方の受付や食品のお渡し、毎月第二土曜日、第四水曜日に開催)

<問い合わせ先> フードバンクおりなす江戸川 代表 棚橋  
電話:080-1027-9235 E-Mail:fborinasu@gmail.com

### 東京23フットボールクラブ 23クリーンプロジェクト <駅周辺のゴミ拾い活動>

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. 日 時:毎月23日(月1回)<br/>集合時間:時間は午前10時<br/>活動時間は30分~1時間程度(雨天中止)<br/>※時間・場所については変更の場合があります。</p> <p>2. 場 所:主に東西線西葛西駅前(現地集合)</p> <p>3. 募集人員:20名(どなたでも)</p> | <p>4. 交通費・食事:なし</p> <p>5. 服 装:動きやすく汚れてもいい服装</p> <p>6. 問い合わせ先:東京23フットボールクラブ<br/>担当:高瀬(タカセ)<br/>info@tokyo23fc.jp あてにメールで。<br/>FAX:03-6808-2047 毎月20日まで受け</p> |
|---|---|

#### みんなと考える

#### 「障がい」「災害」「助け合い」講座開催

障がいを持っている方は災害発生時、どのようにして避難したらよいのでしょうか。避難には互いに支え合う「共助」が大切です。本講座では障がいをお持ちの方と一緒に災害時の避難について考えます。

【開催日時】令和6年1月27日(土) 10時~15時  
(防災食の試食があります)

【主 催】江戸川区福祉ボランティア団体協議会

【参加費】無料 【定員】区民30名程度(先着順)

【会 場】江戸川消防署・グリーンパレス

※2会場の間で街歩きを予定

【申し込み先】12月19日の9時より  
当ボランティアセンターへ。  
電話・窓口・Googleフォームにて  
申し込み開始

#### 里親と子どもの暮らしを聞いてみよう 「養育家庭体験発表会」

子どもたちを一定期間、自身の家庭で預かる里親さんと、ご両親が里親をされている家庭で育った実子さんに体験談をお話しいたします。子どもたちのためにできることのひとつとして、まずは知ることから始めませんか?

【日 時】令和5年12月16日(土)14時~16時

【場 所】総合文化センター研修室(中央4-14-1)

【参加費】無料

【申込方法】

江戸川区児童相談所

里親担当

電話03-5678-1810



9月・10月分

使用済み切手 受領:39件/10.55Kg

ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

#### ボランティア団体登録数

登録団体数:163団体 登録人数:3,600人  
(令和5年10月末現在)

## 寄贈いただいた“ハロウインの葉”を園児にプレゼントしました

10月24日に、「松江おひさま保育園」(海老沢 育子 園長)に“ハロウインの葉”を25枚お届けしました。この葉は大杉にお住いの中山友莉子さんが昨年のクリスマスの葉に引き続き、寄贈していただいたものです。中山さんからは「ぜひ子どもたちが楽しいハロウインを過ごしてほしいです」とのメッセージも添えられていました。かわいいカボチャとお化けの模様の葉で、園児たちはジャンケンをするなどとても喜びながら楽しそうに選んでいました。



ハロウインの葉



葉を手に大喜びの園児たち

## 寄贈いただいた“刺し子の布”88枚を和楽苑にプレゼントしました

西小岩にお住まいの増田道子さんから刺し子の布を88枚寄贈いただきました。この刺し子の布を「特別養護老人ホーム和楽苑」にボランティアの横内さんを通じてプレゼントしました。なぎさและ楽苑で行われた地域食堂でお弁当とともに、地域の方へ差し上げました。

皆様大変喜んで、ひとつひとつ手に取り、楽しそうに選んでいました。作品のきめ細やかさに驚かれる方も多くとても好評でした。



いろいろな種類の刺し子の布



地域の皆様にプレゼント

## 区民まつりのボランティアセンターのブースにご来場ありがとうございました

10月8日(日)に5年ぶりに「第46回江戸川区民まつり」が開催されました。当日ボランティアセンターのPRブースでは「バルーンコーナー」と「手話の体験コーナー」にたくさんの方々に来ていただきました。

「バルーンコーナー」ではボランティアさんが風船を作っても作っても追いつかず、行列ができるくらい盛況でした。「手話の体験コーナー」は小さいお子さんから熟年者まで多くの皆さんで終日にぎわいました。ボランティアさん及びご来場の皆様ありがとうございました。



# えどがわ 区議会 だより

SDGs中学生議会号



発行 江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 未来を担う中学生の声を聞く 江戸川区SDGs中学生議会を開催!!



令和5年11月11日、江戸川区議会では2回目となる「江戸川区SDGs中学生議会」を開催しました。全区立中学校と都立鹿本学園から代表中学生が集い4つの地区に分かれ、区議会議員とともにSDGsの視点からできることを話し合い、区への提言に向け準備を進めてきました。

### ～議会当日の流れ～



■本番当日は、中学生議員が議長と副議長を担当して、議会の進行を行いました。中学生議長が開会を宣言し、はじめに江戸川区SDGs議員連盟会長の高木ひでたか議員と齊藤猛区長からあいさつがありました。

■地区ごとに中学生議員が考えてきた意見や質問、提案を区に行い、区長や教育長が答弁をしました。

■質問終了後には「江戸川区SDGs中学生議会宣言」を行い、SDGsの達成に向けて自分達が主体となってSDGsに取り組む決意を宣言しました。

■最後にふじさわ進一議長からあいさつがあり閉会となりました。

詳細は区議会ホームページに掲載しております。  
右記QRコードからぜひご覧ください。



## 江戸川区SDGs中学生議会宣言

- 快適で安全安心な生活を送り、様々な人に寄り添いずっと住み続けていける区にするため、中学生議会で学んだことを意識して行動していきます。
- 豊かに心地良く過ごせるまちにするために、区の取り組みに興味を持ってもらうために、自らが江戸川区を創り上げていく自覚を持ち行動に移すよう努めていきます。
- 誰にとっても居心地の良い区にするために、ともに意見を出し合い尊重し、個人や学校活動を通して、自主性を持って積極的に取り組んでいきます。
- みどりあふれる江戸川区、一人ひとりが紡ぐ明るく新しい社会を目指していきます。



宣言全文はQRコードからご覧ください。



## 江戸川区議会のSDGs

江戸川区議会では、これまでも車いすの方が傍聴するための階段昇降車の導入や傍聴席の手すりの設置、議場で車いすの方でも登壇できるようにスロープを設置する等、誰一人取り残さないことを理念とするSDGsへの取り組みを進めています。

そして、このSDGs中学生議会も江戸川区SDGs議員連盟が中心となり、中学生にSDGsへの知識・理解を深めてもらうことを目的に開催しました。これからも江戸川区議会はSDGsの達成に向け取り組んでいきます。



中学生議員の提案・質問について、次のページで紹介しています。ご覧ください!!

■議場演壇のスロープ

## 江戸川区SDGs中学生議会議員

小松川	露崎 心寧	清新 第二	大月 蒼羽
小松川第二	小川 梨真	瑞 江	稲生 彩音
松江 第一	角 祐希	瑞 江 第二	磯崎 愛
松江 第二	中村 ころこ	瑞 江 第三	森島 優衣
松江 第三	青山 夏都	春 江	東村 誠司
松江 第四	竹内 新	鹿 本	岡本 蘭
松江 第五	高橋 小雪	鹿 骨	西園 優羽
松江 第六	近藤 寧々	篠 崎	野口 耀太郎
二之江	荒木 篤道	篠 崎 第二	木平 陽向
葛 西	岡 志央理	小岩 第一	佐野 美香子
葛 西 第二	石澤 幸汰	小岩 第二	八木 沢紫咲里
葛 西 第三	西原 典子	小岩 第三	関 ひより
南葛 西	磯崎 めい	小岩 第四	橋場 美侑
南葛 西 第二	加賀 理央	小岩 第五	荒 かれん
西葛 西	田代 大翔	上 一色	入内 島希依
東葛 西	相原 一仁	鹿本 学園	道解 真人
清新 第一	中野 耀翼		

各代表中学生 33人

## 江戸川区SDGs中学生議会実行委員会

◎区議会議員	金井 高志	ヱコム東京江戸川局	八重樫まゆみ
○区議会議員	川合さなこ	区議会議員	小林ともお
国連の友 Asia-Pacific	金森 孝裕	区議会議員	佐野ともこ
国連の友 Asia-Pacific	大戸 天童	区議会議員	金井しげる
国連の友 Asia-Pacific	高島まゆみ	区議会議員	牧野けんじ
株式会社 W TOKYO	田嶋 康弘	区議会議員	きもと麻由
松江第二中学校校長	鈴木 啓之	区議会議員	伊藤ひとみ
松江第五中学校校長	荒巻 淳	区議会議員	林 あきこ
都立鹿本学園主幹教諭	田中 剛	その他区職員	

◎実行委員長 ○副実行委員長

## 区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎高木 ひでたか ○関 根 まみ子  
小林 あすか 小 俣 のり子 滝 沢 やすこ

## 中学生議員からの主な質問

SDGsの考え方、区の施策について学習し理解を深めた中学生議員が、学習してきたことを踏まえ、斉藤猛区長に意見や質問を述べました。ここでは、各地区の質問と答弁の要旨を掲載します。

### 第1地区

**問** 多様性を認める社会を築いていくために、小中学校の授業の一部に、多様性について知ることができる機会をつくっては。

**答** 多様性の尊重は大変重要であり、先生達も研修等を通して理解を深めている。これからも様々な機会を通して、一人ひとりが自分と異なる考え方・生き方を尊重し大切にしようとする気持ちを持てる学びの場を多くつくることできるように、学校にも働きかけていきたい。

**問** 防火水槽や避難場所の表示を見かけるが、その場所や使用方法を知らない人が多いのではないかと。災害時の道具の設置場所を記したマップの作成や、区民に災害時の道具の使い方を教える機会を設けては。



**答** 新しい防災マップ作成とともに、道具の設置場所等の情報は防災アプリの活用も検討している。災害時の設備については地域の防災訓練等で説明や区ホームページに掲載しており、今後は公園の看板に二次元コードを入れて動画で使い方が分かる工夫も考えていきたい。

**問** 老朽化が進む歩道等の危険なところを区民から区に知らせることができるWEBサイトをつくる、あるいは区公式LINEを広めては。また、修繕の進捗状況等の対応の情報を可視化できるようにすべき。

**答** 日々のパトロールや点検で速やかな発見に努めているが、区民からの情報提供は有難いと思う。区公式LINEでは道路等の損傷が投稿できるので活用してほしいが、見えづらい部分は改善したい。日々の管理をしっかりと行い事故がなく長く使い続けられるように努めたい。

**問** 区内全中学校に募集要項を提示する等ボランティアの募集を行い、学校でも申し込みをできるようにすべき。中学生に対しSDGsアプリ「eito」の認知度を上げ、利用者数を増やす対策を。

**答** 区民まつりや自転車盗ゼロ作戦等、学校を通じて募集しているが、もっと簡単に申し込める方法を考えている。その一つが「eito」の活用であり、見やすく応募しやすくなるように改善し、中学生がボランティアに興味を持って参加できる環境をつくっていきたい。

**問** ボール遊びが可能な公園が少ない。既存の公園のリニューアルや高架下の土地の活用、サッカー等様々な用途に転換できる多目的公園をつくっては。また、仕切りの設置や夜間帯は鍵を閉める等の管理を。



**答** 遊具等時代に合ったものに更新しているが、近隣住民から音がうるさいとの声もあり、ボールを使える公園が限られている。区内高架下の公園の中にはフェンスで囲まれボールを使える公園もある。また、鍵をかける公園もあるがマナーを守らない利用者もいる。管理問題等も含め利用しやすい公園を目指し、提案内容も受け止め考えていく。

**問** 喫煙者の目に留まるところに受動喫煙の影響等を示したポスターや看板を設置しては。また、たばこのポイ捨てに対して更なる対策を。

**答** たばこについて注意喚起するポスターを張り出し、看板や路面シート等も設置している。これからは、高校生や大学生、地元企業の参加やSNSの活用、区施設での注意喚起や、たばこ販売店とも協力して例えばウェットティッシュを配った注意喚起等を行いたい。

**問** 住宅街の街路灯が少ないと感じるため、暗い街路灯への対策を。また、区ホームページの中に意見箱をつくり学校の手紙で周知する等、中学生の要望も気軽に区に届けられるツールをつくってほしい。

**答** 街路灯のLED化は概ね完了し、夜間パトロールの際に街路灯の確認を行い不具合があれば対応している。街路灯は明るすぎると生態系に影響するため適切な明るさを求めたい。また、区ホームページをリニューアルして区政への提案のページを分かりやすくしたい。

**問** 若者が魅力を感じることができるまちづくりのため、スケートボードパークや人工芝の運動場、野球場等のスポーツ施設を増やしては。



**答** 区内スポーツ施設の年間利用者は把握人数より多いと推計している。スケートボードパークについてはつくってほしいとの声はあるが、自分の家の隣にできるのは困るという人が多く、地域の声を聞きながら進めたい。何歳になってもスポーツができる環境を整備したい。

### 第2地区

**問** ごみ問題について。

①区内を歩くとポイ捨てされたごみを見かける。区内小中学校を中心に拾ったごみの量を競う機会を設けることで、子どもはごみの多さを感じ、大人は綺麗なおとこにごみを捨てる罪悪感からごみが減ることに繋がると考える。一度本区を大々的に掃除する機会を設けては。



②給食の残菜について、各学校で残菜を減らす様々な取り組みを行っているが、完全に残菜をなくすことは難しい。他自治体では給食の残菜を肥料や燃料に利用しており、本区でも給食の残菜を新しく資源として活用し、バイオガス発電の燃料等に利用する取り組みを行っては。

**答** ①区内を綺麗にする取り組みとしては、毎年5月と11月に環境をよくする運動の区内一斉美化運動があり、区内の小中学校が参加し、令和5年度からは高校にも参加を呼びかけている。競争要素を取り入れたごみ拾いも行われていたがコロナ禍で途切れており、今後学校対抗のごみ拾いイベントの開催も検討したい。

②やむを得ず廃棄せざるを得ない生ごみについては、平成14年度よりリサイクルに取り組み、現在は飼料化している。今後も食べ残しを減らす取り組みを進めながら、廃棄せざるを得ない生ごみはリサイクルしていきたい。燃料化については、食べ残しを家畜の糞等と混ぜて発酵させる手法により発生したバイオガスを発電の燃料に活用する事例も含め、他自治体の先進的な取り組み等も参考にしていきたい。

**問** 本区は「SDGs未来都市」に選定されたが、具体的な活動を知っている人は少ない。YouTubeショートやTikTok等を活用し、本区のSDGsに関する活動や区の魅力を広げる発信を。知名度を上げるために本区のキャラクターを使ったインパクトのある動画を作成しては。



**答** 区ではLINE、インスタグラム、フェイスブック、X(旧Twitter)、YouTube等を活用して、区の取り組みや魅力を発信してきた。えどがわ区民ニュースでは区内のSDGsの取り組みを紹介する番組を毎月1本制作し、そのYouTube再生回数は累計1万回を超えている。今後も本区の知名度を一層上げるためにYouTubeショートやTikTokを含め、時代に応じたSNSの使い分け、話題性を高める動画のコンテンツづくりに取り組んでいく。

**問** 地域おこしについて。

①開催されるお祭りの多くが地域ごとに開かれており、他地域に住む人には知られておらず、区民全体で交流できる場が少ない。誰でも気軽に参加できる大きなお祭りの実施を。SNS等を活用したお祭りの宣伝、高齢者も楽しめる工夫と、お祭りの運営には学生に関わってもらうことで、立場や世代を超えた交流ができると思うが。

②河川が多い本区の特徴を生かし、川にランタンを流す行事を実施することで、川に対するマイナスのイメージもプラスのイメージに変わり本区をより好きになると考える。環境に良い素材のランタンを使用し、回収も参加者が行うことで、最後まで楽しめるイベントの実施を。



**答** ①大規模なお祭りの開催は、準備とそのお祭りへの参加、実現した後の片付けや反省会により人と人との繋がりが生まれ、コミュニティの形成が図られるという大きな効果があると思う。SNS等を活用したお祭りの宣伝で、多くの世代に参加してもらえるよう、区民まつりをはじめとする地域まつりの情報発信を更に充実させていきたい。

②水害等の災害のリスクはあるが、水とみどりに恵まれた自然環境豊かな場所が本区であると思う。ランタンを流すイベントについては、長崎のランタンフェスティバルや京都の嵐山灯籠流し等、全国的に見ても地域の魅力を高めるイベントもある。本区では旧中川で毎年8月に灯籠流しを行っており、多くの方が参加している。水辺に囲まれた本区の特徴を生かし、環境面にも配慮しながらランタンを流す部分についても皆さんと色々な形で話し合いをしていきたい。

## 区議会ホームページもご覧ください

区議会ホームページには、これまでの江戸川区SDGs中学生議会の活動について掲載しています。より詳細な中学生議会の各地区の質問と答弁の記録もありますので、右記のQRコードからぜひご覧ください。



## 第3地区

**図** 各学校では制服の選択肢を増やす、トイレ標識を工夫する等の男女差別をなくす取り組みを行っている。今の対策だけでは男女差別が減ると思えないが、男女差別をなくす本区の今後の取り組みについて。

☎ 本区では「性の平等と多様性を尊重する社会づくり条例」を制定し、男女平等社会と条例が描く理念の実現に向け取り組んでいる。女性の意見が区政運営には必要で、様々な会議に女性が一定割合以上参加する取り組みもっており、今後も区役所全体で取り組みたい。

**図** 学習用タブレットによる学習について、タブレットに入っているアプリの使用をはじめ、作曲や絵を描くこと、動画や画像の編集等、幅広い範囲で学習用タブレットを活用できるようにしていくべき。



☎ 小岩第二中学校のようにタブレットを使い姉妹都市であるハワイ州ホノルル市のミドルスクールとの交流をオンラインで行う等の学習活動も始まっている。今後も学習が充実するようICT環境を整えていくとともに、提案の作曲や絵を描くこと、動画撮影等で、個の学びに繋がるようなアプリの更なる活用を現場で進めてほしいと考える。

**図** 給食の食材がどのようにつくられているのかを知る機会を設け、食べることへの感謝の意識を持つことで、給食の食べ残し削減に繋がると考える。給食における食品ロス削減への具体的な対応と改善策は。



☎ 生徒の体調や体質、食欲の具合、好き嫌い等により残菜が出てしまう。各学校でも、給食委員会を中心に食べ残しをなくす努力や、調理師の仕事を動画にして全校で視聴する等の取り組みを行っている。今後も、社会科や家庭科等と関連した食育の実施や、食材の流通と勤労の尊さを学ぶ機会を設け、感謝の気持ちを育む取り組みを広げたい。

**図** エアコンの設定温度について各学校や先生によって異なっている。地球環境と生徒の体調を考慮したエアコンの設定温度の基準を決定し、区内小中学校のほか、区が運営する施設で統一した運用を図るべき。

☎ エアコンの過度な使用は控え、夏は28℃、冬は20℃を目安に合わせクールビズやウォームビズを行っている。外から帰り最初は設定温度を低くしても室温は28℃、これからは20℃に調整するよう知らせていく。新たな国民運動「デコ活」では、様々な団体が身近なできることを提案しており、区でもそのような形で知らせ取り組みたい。

**図** 区内を歩くと缶やペットボトル等のごみが落ちてのを見かける。清掃ボランティア活動を区から積極的に発信することで、ポイ捨てはいけないと知ってもらえごみが多く減ると考えるが、区の考えは。

☎ ごみのポイ捨て等の様々な環境問題は行政だけで解決はできず、区民全体で取り組まなければならない問題だと考える。広報えどがわ、区ホームページやポスターの掲示等、色々な媒体で清掃ボランティアの情報を発信したい。また、SDGsアプリ「eito」でも、活動に参加しやすい、参加して良かったと思えるような工夫をしていきたい。

**図** 本区が行っている不登校支援について、区民に認知されていないように感じる。今後、区では不登校支援に関する情報をどのように広めていこうと考えているのか。

☎ 学校は悩む生徒や保護者に直接、学校サポート教室やフリースクール等の情報を提供している。不登校支援の情報はリーフレットや学校の配布資料等で知らせ、今後も新たな方法を検討し、情報が必要な人には学校を通して支援する。互いに尊重し登校を楽しみに思う学校を築くことが解決策であり、その気持ちで学校生活を過ごしてほしい。

**図** 共生社会の実現に向け障害者や高齢者をより身近に感じてもらうため、小中学校の授業の中で講演会を体育館で行うことに加えて、教室で学校の児童・生徒、障害者、高齢者と交流する場を設けるべき。



☎ コロナ禍が明け、学校ではそれぞれの教育計画に基づき地域の高齢者の福祉施設等の訪問や、パラリンピック出場選手を招待して交流している学校もある。これからも地域を含めた様々な場面や機会を通して色々な人と関わり、共生社会の中で自らの感性を養ってほしい。

## 第4地区

**図** 全ての人が交流できる場について。

①小岩地区では大人数で利用できる大規模な公園がない。高齢者、障害者等、各年代が積極的に利用でき、区民が気軽に集まることができる公園を設けることはできないか。



②区民が利用しやすい公園に、屋内・屋外一体型で、子どもから高齢者まで様々な年代の人が集まり交流できる施設の設置を。

③区民が気軽に交流できる場について、人数制限や通路が狭い故に車いす利用者が参加できない等の問題がおきないように、コミュニティセンター等の屋内広場の面積を増やすべき。施設のバリアフリー化を。

☎ ①土地を売ってほしい旨のチラシを配っており、適した土地があれば区として取得し公園にしていきたい。学校の統廃合による学校跡地は公園として利用し、区の方針として公園面積を増やしていく。バリアフリー環境も整えて誰もが利用できる公園を目指していきたい。

②これからリニューアルする小岩公園は世代や障害の有無を超えて交流できる場となるように整備するが、屋内一体型という形はできていない。現在、総合レクリエーション公園の一部を屋内一体型の施設にする構想を考えており、小岩を含めた色々な地域にも広げていきたい。

③区内の全ての施設が広場のように使えるわけではないが、段差の解消、多機能トイレの設置等できるところをしっかりと行いたい。提案内容を区としても意識をしていき、気付いた点があれば教えてほしい。

**図** 自転車の利用について。

①自転車は環境にやさしく自動車に代わる移動手段として、より便利な活用が求められる。区が率先して駅周辺にシェアサイクルの設置を。

②駐輪場の数が少ないことや場所が分からないため、違法駐輪の数が多いと考える。駅の周りに建物を建てる際は駐輪場も併せてつくる等の取り決めや、駐輪場の場所を地図等に掲示して周知をすべき。



☎ ①区内11駅の駐輪場で定期利用も可能な電動アシスト自転車等の貸し出しを行っている。民間主導ではコンビニ等、区内に138の自転車ステーションがあり、区外やどのステーションでも貸し出し・返却が可能である。知らない人もいるためしっかりと発信していきたい。

②地下に駐輪場をつくり、9000台以上の違法駐輪を98.8%減らすことができた。お店に駐輪場をつくるようお願いや、区の駐輪場の一部を2時間無料にする等試みている。小岩駅前の再開発では新たな駐輪場を整備予定であり、駐輪のルール・マナーも引き続きPRしたい。

**図** 区内のごみ箱の設置数について。

①ポイ捨てが多いため、ごみ箱の設置数を増やしては、外に出してある家庭ごみをカラス等が漁らないように、ごみを入れる倉庫の設置を。

②本区の歩行喫煙及びポイ捨て防止等に関する条例について、区民全員に周知すべき。ごみが多い公園や駅前の商店街等にごみ箱の設置を。

③多くの人が集まる公園にごみ箱の設置を。設置が困難な場合には、ポイ捨て防止の対策やごみ拾い活動の区における推進は。また、自動販売機横のリサイクルボックスは中身の量を視認できるようにすべき。



☎ ①倉庫を置く場所等の課題もある。集積所をつくりたいが、設置場所は地域との話し合いが必要なため研究したい。以前公園にごみ箱を設置したが、家庭ごみでごみが増えることがあった。現在は自分のごみは自分で持ち帰るの願いをしており様々な角度から検討したい。

②ポスター掲示、バスの車内や駅の放送でポイ捨ては条例違反とのアナウンスを流しており、今後も様々な表現・媒体を使い取り組みたい。自分のごみは責任を持って持ち帰ることを啓発して環境問題を解決してきた経緯がある。職員が気付かない部分等これからも教えてほしい。

③清掃活動をする町会・自治会や団体にごみ袋や軍手等を支給している。個々の団体が一体になって活動できるよう横の繋がりを広げたい。リサイクルボックスは飲料メーカーが設置しており、中身が見えるものについて話をしていき、区役所内のごみ箱でも実証実験をしたい。

# SDGs中学生議会開催までの流れ

## 6月28日・7月12日 実行委員会の開催

SDGs中学生議会の開催に向けて、江戸川区SDGs議員連盟から選出された区議会議員、中学校の先生方、国連の友Asia-Pacific等で構成される実行委員会を開催し、実施内容の調整を始めました。



初めての顔合わせ



## 7月22日 全体勉強会

各学校から選出された中学生33人が集まって、区が取り組んでいるSDGs、区議会のしくみ等を学びました。全体勉強会後にはグループワークが行われ、各地区を担当する実行委員会の区議会議員がサポートをしながら、SDGs達成のために区政へどのように働きかければいいのか、その課題等を各グループで話し合いました。



グループワークの様子

## 7月23日～ グループワーク

各グループで学校の夏休み期間も利用してグループワークを重ねました。中学生議員達による様々な意見から質問する内容をまとめていき、本番に向けた準備を進めました。

## 9月12日 実行委員会の開催

SDGs中学生議会実行委員会で、グループワークの進捗の報告とリハーサル・本番の進め方について話し合いました。



## 10月22日 リハーサル

議場で本番の練習!!

議場で本番の流れを実際に確認するため、リハーサルを行いました。中学生議員が議長役・副議長役に就いて議事を進行し、議事進行に従い、質問を行う手順等を学びました。



リハーサルの様子



## 11月7日 本番前最後の実行委員会

リハーサル後に行われたSDGs中学生議会実行委員会で、本番に向けた最終調整を行いました。

## 11月11日

いよいよ本番!!

## SDGs中学生議会

本番を迎えたSDGs中学生議会。議場という緊張感のある場所でも堂々とまっすぐに区長へ質問と思いを伝える中学生議員の姿に、傍聴に来ていた多くの人が感銘を受けました。



SDGs中学生議会集合写真

## SDGs中学生議会を終えて

SDGs中学生議会を終えた中学生達にアンケートを実施し、感想や意見を聞きました。ここではアンケートの一部を紹介します。

他の学校での活動や皆さんの意見を聞いて、たくさん学ぶことができました。

初めは緊張しましたが、他の中学生議員達とも打ち解けることができ、最後まで楽しんで議論ができました。

江戸川区の良いところや改善点等を、区長や教育長から直接聞くことができとても貴重な経験になりました。



議場で発表ができたことを誇りに思っています。

SDGsに対する意識が大きく変わりました。SDGsについてもっと知りたいなと思いました。

議員の方々がやさしくサポートしてくれたので、最後までやり遂げることができました。